

札病薬からの重要なお知らせ

2021年1月

札幌病院薬剤師会 会長 後藤 仁和

2020年度 日病薬 生涯研修認定制度の単位申請について

会員の皆様には益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。本年度の申請におかれましても、下記の注意点を十分ご確認の上、ご提出いただきますようお願い申し上げます。

本年度は、WEB形式の学会等へ参加された場合の単位について、日病薬へ確認の上、札病薬としての申請基準を設けておりますので、ご参考にさせていただきますようお願い申し上げます。

《生涯研修記録・認定申請書の入手方法と提出》

- ・ 日病薬または北病薬のホームページから各自ダウンロードした用紙を使用してください。
⇒入力もしくは記載した印刷物を札病薬事務局へ提出していただきます。

※ 単位の取り扱いの注意点 ※

- 研修記録の「証明書の有無」欄に関しては、
昨年同様、札病薬は【証明書の有無】欄を活用しないことにします。
特記事項などがあれば備考欄としてお使いください。

※ 提出における注意点 ※

- ① 認定申請書（資料①）と研修記録（資料②）に加えて、必要に応じて各写し（単位取得証明書、受講履歴一覧表、論文表紙）を、ホチキスで止めて提出してください。
※研修記録の提出が無い・記載不備の場合は単位を認めることはできません。
※申請書類は必ず施設でとりまとめて【送付先】まで郵送してください。
- ② 研修記録は各施設にて作成しても構いませんが（※入力・記載における注意事項※参照）、
「研修区分ごと」且つ「時系列」に並び替えて印刷したものを提出してください。
- ③ 提出前に下記＜自己チェックリスト＞を使用し、最終確認をお願いします。

＜自己チェックリスト＞

- 申請する研修は、4月1日より翌年3月31日までである。
- (1)、(2) ＜区分と対象＞が適切である。
- (1)、(2) 【日時】と【時間数】に誤りがない。
- (1)～(6) 【時間数】と【単位】に整合性がある。
- (1)、(2) 1日の上限4単位を超えていない（講師・演者付与単位を除く）。
- (4)、(6) 年間の上限5単位を超えていない。
- (1)+(2)+(3)の合計単位は12単位以上取得している。
- 合計単位は40単位以上取得している。
- (3)申請者は、単位取得証明書・受講履歴一覧表の写しを添付している。
- (7)申請者は、当該論文表紙の写しを添付している。

※ 入力・記載における注意点 ※

- ① 認定申請書（資料①）に記入した単位は、その内容を全て研修記録（資料②）に記載してください。
- ② 研修記録は各施設にて Excel などを用い1 ページに集約し自由作成しても構いませんが、
【研修区分】 【日時】 【時間数】 【研修内容】 【単位】 の項目欄は必ず設けてください。
※ページ1の認定申請書は日病薬指定の物を使用してください。
- ③ 研修記録の研修内容欄は開催名を記載してください(研修区分を判別するため)。
○:薬剤師臨床セミナー ×:高血圧治療ガイドラインについて
- ④ (1)学会、学術大会、学術集会、(2)研修会、講習会の申請におかれましては、下記<区分と対象>を熟読の上、該当する講演会のみ記載をお願い致します。
★なお「医師会」に関しましては、「日本医学関連学術団体」および「各都道府県が認定した医学・薬学関連の講習会」とみなされておりません。そのため、医師会が主催・共催の講演会（医師コードなどの取得可能な講演会）などは(2)には含まれませんのでご注意ください。
- ⑤ (5)グループ研修の申請において、治験スタートアップミーティングや院内感染委員会会議など業務と見受けられる申請は控えてください。

<区分と対象>

区分	対象
(1) 学会 学術大会 学術集会	日本病院薬剤師会・各都道府県病院薬剤師会 日本医療薬学会 日本薬学会 日本薬剤師会・各都道府県薬剤師会 日本医学会関連学術団体 その他、各都道府県病薬が認定した医学・薬学関連の学術集会 (日本学術会議(協力学術研究団体を含む)等)
(2) 研修会 講習会	日本病院薬剤師会・各都道府県病院薬剤師会 日本薬剤師会・各都道府県薬剤師会(支部を含む) 日本薬剤師研修センター 薬科大学および薬学部 日本医学会関連学術団体 その他、各都道府県病薬が認定した医学・薬学関連の研修会・講習会
(5) グループ研修	(2)に定める研修会、講習会以外の集合研修 薬局・薬剤部内・施設内・地域・職域などのグループによる勉強会

<現地開催型学会・講演会以外(WEB)の研修単位の申請に関する札病薬としての基準>

①学会の単位

■視聴時間にて単位申請を認める (1日最大4単位まで)

■医療薬学会年会のように、各シンポジウム等に対して単位が付与される場合には、その単位も認める
ただし、参加(視聴)のみ+各シンポジウムの単位の合計が1日4単位を超える場合には、4単位を上限とする (例;参加(視聴)のみ:3単位、各シンポジウムの単位:0.5単位×2コマ 計4単位)

②単位の証明

■区分(1)・(2)については、参加証明書や研修シールの写しを添付する

(例;参加のみ→参加証明書、研修シールが発行される講演会等→研修シール)

■次のような場合、他に証明可能な書類(例;ログ管理表、参加費支払領収書)の写しを添付する

・参加証明書や研修シールが発行されない

・会期が年度末に近く、研修シールが生涯研修申請の段階で手元に届かない

③e-ラーニングの単位認定

■日病薬の「単位取得証明書・受講一覧の写し」のみ認める(日病薬以外は「(6)自己研修」とする)

記入例と注意点

資料① 認定申請書 (ページ 1)

20XX 年度分			
(1)学会・学術大会	(2)研修会・講習会	(3)e-ラーニング	(4)実習研修
7.5 単位	6 単位	0 単位	0 単位
(5)グループ研修	(6)自己研修	(7)学術論文掲載	合計
22.5 単位	5 単位	0 単位	41 単位

(1)+(2)+(3)の合計は 12 単位以上

※前年度未認定者に限り、(1)、(2)の前年度単位申請可

合計 40 単位以上

資料② 研修記録 (ページ 2 以降)

研修記録

(1)学会・学術大会・学術集会

参加：30分 0.25 単位 (1日上限 4 単位)

講師・演者：1回 1 単位付与

日時	時間数	研修内容	単位	証明書の有無 (確認印可)
20xx/5/18	8	第〇〇回 北海道薬学大会 (1日目)	4	
20xx/5/19	7	第〇〇回 北海道薬学大会 (2日目)	3.5	

学術大会によっては 1 日目と 2 日目で時間数が異なる場合があります

○ 2019/5/19 北海道薬学大会(2日目) 7時間 3.5 単位

× 2019/5/19 北海道薬学大会(2日目) 8時間 4 単位

(1)、(2)は 1 日上限 4 単位

※講師・演者付与単位は別に認める

(2)は主催・共催団体が
 ・薬剤師会
 ・日本薬剤師研修センター
 ・薬科大学、薬学部
 ・日本医学関連学術団体

研修記録

(2)研修会・講習会

参加：30分 0.25 単位 (1日上限 4 単位)

講師・演者：1回 1 単位付与

日時	時間数	研修内容	単位	証明書の有無 (確認印可)
20xx/6/20	2	第〇〇〇回 薬剤師臨床セミナー	1	
20xx/7/21	7	薬剤師スキルアップ講座 第〇回薬剤師のためのフィジカルセサメント	3.5	
20xx/8/20	1.5	20xx 年度 薬剤師研修講座 将来ビジョン講座 第〇回	0.75	

(5)は主催・共催団体が

- ・製薬企業
- ・医師会
- ・不明

研修記録

(5)グループ研修

参加：30分 0.25 単位

日時	時間数	研修内容	単位	証明書の有無 (確認印可)
20xx/5/20	1	〇〇病院薬剤部 勉強会	0.5	
20xx/5/30	1.5	第〇回 札幌市医師会学術講演会	0.75	
20xx/6/8	3	第〇回薬剤師のための ××連携ワークショップ	1.5	
20xx/7/24	0.75	△△インターネットシンポジウム	0.25	

(6)は

- ・雑誌、書籍などによる学習
- ・日病薬以外の e-ラーニング

研修記録

(6)自己研修

1時間 0.25 単位 (ただし、年間上限 5 単位)

日時	時間数	研修内容	単位	証明書の有無 (確認印可)
20xx/6/16	1	緩和医療薬学会 e-ラーニング WHO 方式がん疼痛治療法	0.25	
20xx/7/7	1	院外処方せんの検査値情報を利用した疑義照会基準の統一と評価, 日本病院薬剤師会雑誌, 55 (7): 777-783, 2019	0.25	
20xx/7/10	1	抗菌薬関連下痢症の主役! クロストリデ イオイデス (クロストリジウム)・ディフ ィシル感染症, 月刊薬事, Vol.61, 2019	0.25	
20xx/10/15	1	高血圧治療ガイドライン, 日本高血 圧学会, 2019	0.25	